

TMニュース No.3

R2.10.1. TM部

9月に入り、様々な行事や延期されていた講演会等が動き出しました。TMミーティングも学年別のテーマに沿った内容やオンラインによる大学からの早期医療体験プログラムへの参加など、新しい取り組みも行われています。

9月4日（金） 1年31名



1年生対象の第3回TMミーティングが行われ、ベネッセの友澤氏による1年生1回目のスタディサポートの結果分析会が行われました。

大学入試を考えた場合、定期考査や模擬試験などそれぞれの試験でどのような力を確認していくのか、その中でスタディサポートの位置づけは「基礎力の弱点を知る」ことにある。具体的な問題例をあげつつ、何が不足しているのかといった点を話していただきました。生徒の感想にも、今までの学習を見直すきっかけとなった、というものが多くありました。

9月18日（金） 2年16名



2年生対象の第3回TMミーティングが行われました。内容は、

- (1) 第2回スタディサポートについて
リスニングを実施しました。
- (2) 本年度2年生の個人研究について
「国公立大学医学部研究」ということで、大学の決め方やまとめ方、提出の仕方等について、説明がありました。
- (3) 早期医療体験プログラムについて
翌週から始まるオンラインセミナーのレポートの書き方の指導及び2年生のこの時期の重要性について話があり、個人面談の予定の確認が行われました。

9月26日（土）早期医療体験プログラム

読売新聞が企画したプログラムに学校単位で参加しました。5大学の講演があり、1・2年生はどれか1つを必ず視聴する形としました。

東京医科歯科大学 1・2年 20名



「コロナ医療最前線」と題して4人の先生がそれぞれの立場から、この間の病院

としてのコロナへの取り組みを語られました。また、同大学の魅力を伝える学生さんの話などもあり、生徒にとっても有意義な時間でありました。

大阪大学心臓血管外科 1・2年 8名

高度先進医療の現場を伝える貴重な映像と講演でした。心臓手術のビデオは生徒も食い入るようにみていま



した。質問にも丁寧に答えてくださり、他校の生徒の質問は生徒たちにも刺激になったようです。